

令和3年3月29日

新型コロナウイルスワクチン接種推進本部
本部長 田中 昭 様

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
委員長 高橋 秀 策

新型コロナウイルスワクチン集団接種模擬訓練に係る意見について

感染症対策、とりわけワクチン接種について、懸命に取り組を進めていただいておりますことに心から感謝申し上げます。

去る3月21日に開催された上記模擬訓練に、本委員会の委員も参加いたしましたが、その所感等をもとに協議し、改善点等に関する委員会としての意見を取りまとめましたので、提出いたします。検証の一助となれば幸いです。

なお、参考として、各委員の意見（所感）を添付しておりますので、ご参照ください。

《添付書類》

- 1 改善点等に関する委員会としての意見
- 2 模擬訓練に関する各委員の所感（参考）

駐車場に関すること

違法駐車や送迎待機の車両が、送迎バスの運行を妨げている状況が見られました。周辺道路の駐車禁止のほか、ドライブスルー方式の送迎乗降場所の確保などについて検討する必要があると考えます。

また、スタッフや接種を受ける方が自家用車で移動した場合、駐車場の不足が予想されます。全ての会場において、駐車場の確保とともに、警備員（誘導員）の配置などを検討する必要があると考えます。

会場に関すること

降雨時の滑り止め対策、特に入口で濡れたままの状態ですべての受付をすることから、場所の変更や高齢者が足を滑らせない工夫が必要であると考えます。

また、通路の幅のほか、段差や床のコーション類など、高齢者や車椅子を想定した注意喚起やスロープの設置などの工夫、施設の一般利用者との入口区分等が必要であると考えます。

接種を受ける方への配慮に関すること

接種を受ける人にとっては、次に自分が何をすべきかが分からないことが不安要素となります。順次、案内役の方が案内していましたが、動線を分かりやすく全体図などで表示しておくことも有効ではないかと考えます。

また、高齢者であるため、会場内での支援が必要な方も一定数想定されることから、ボランティアスタッフの十分な配置が必要であると考えます。

そのほか、列ごとに逆並びになっていましたが、接種時の肩を出すときに、女性の下着の紐が見え、対面の方が目のやり場に困る場面なども想定され、周りから見えることに対する工夫や配慮が必要であると考えます。

安全かつ円滑なワクチン接種に向けて

感染症の終息には、感染防止に対する市民の理解と、希望する市民へのワクチン接種が重要と考えています。

ワクチン接種の有効性をはじめ、副反応、接種に関わる詳細情報など、集団免疫の獲得に向けて、一人でも多く接種を希望されるように、その必要性を広く市民へ周知いただき、相談窓口の対応強化をお願いします。

あわせて、集団接種が市の主催事業であることから、高齢者の転倒やショック症状等不測の事態に対する救急体制、傷害保険の加入など、万全の体制づくりに努めていただき、安全かつ円滑なワクチン接種に向けて、引き続き取組を進めていただきますようお願いいたします。

各委員の所感

【会場までの移動】

- 大型バスではなく、マイクロバスでの機敏な移動のほうが有効であると考ええる。また、違法駐車や送迎待機の車両がバス運行通路を邪魔している。周辺道路の駐停車禁止のほか、ドライブスルー方式の送迎場所を確保しておくことが望ましい。

【駐車場】

- スタッフと接種を受ける方が自家用車で移動した場合、駐車場が足りない。駐車場の確保と警備員（誘導員）の配置などを検討する必要がある。また、臨時駐車場の場所なども案内に入れておくことが望ましい。臨時駐車場からの移動手段も必要。特に東体育館での駐車場問題は早急な対応が必要。
- メイン駐車場のスペースが限られているため、法面際の駐車場や公園下の駐車場の場所をよりしっかり広報する必要がある（あまり知られていない）。

【会場内】

- 会場入り口から受付までの動線となる通路を、接種を受ける方以外に通過させるべきではない。また、一方通行にしないと出入りの管理が困難ではないか。スタッフは別経路を設けることが望ましいと考える。
- 次回接種待機所の椅子の数と、受付前の椅子の数をあわせて、ブロック移動したほうがいいのか。そうしないと、来られた方の順番の把握もできない。どこまで案内したかを分かりやすくするためと移動案内がブロックで行うほうが効率的であると考ええる。
- 次回接種待機所に、どの予定時間の待機グループかを表示したほうがいいのか。そうしないと、自分がそこで待っているのが正しいのかどうか分からない。
- 接種説明もブロックごとにするのがいいのか。誰に説明をしているのか分からないために、自分の番以外の方が待機場所から移動してしまう。
- 接種券を忘れた方の本人確認が少し甘いのではないかと感じた。せめて身分証明書や保険証等で確認しないと、高齢者の多重接種につながる危険性もある。
- 刺青をされている方など、本人及び他の方が身体的に気になる方への対応をどのように行うか、マニュアル化が必要であると考ええる。

- 接種をしていただく先生だけでもネームプレートをつけて接種を受ける方を安心させてはどうか。
- 今回の訓練では、接種人数が時間当たり25人のBOXと40人のBOXがあり、問診が終わっているのに、また接種前に問診を行っていた。医師の問診を簡素化して接種人数を増やさなければ、予定している接種者への接種ができないのではないか。医師の予診（再診）は不要ではないかと考える。
- 舞鶴方式の良さを生かすために、効率のいい流れを明確にしておく必要がある。
- 車椅子の通り道で狭いところがあった。また、床に這わせてあるコード類やつなぎ目など、引っかかったところやデコボコがあり危険と感じるところもあった。
- 降雨時の滑り止め対策が不十分であったと考える。特に、入口で濡れたままの状態を受付をしていることから、場所の変更や高齢者が足を滑らせない配慮が必要。
- 一部に段差があるが、高齢者にも分かるような注意喚起の表示または段差を解消するスロープの設置が望ましいと考える。
- 不安会場のために、業務に差支えない範囲でBGMを流してもいいのではないか。
- 接種後の経過観察時に、スタッフの複数人に「風呂に入ってもいいか」「酒を飲んでもいいか」を尋ねたところ、回答が統一されていなかったため、そうした対応の準備も必要ではないか。
- アナフィラキシー症状の対処は訓練されていたが、地震や火災といった不測の事態が発生した場合の避難誘導等も検討しておくべきであるとする。
- 会場に到着してから会場内に入るまでの案内や問診までに待つところが分かりにくかった（指定された時間より早く会場に到着した場合）。
- 会場内の動線が分かりにくかった。人が案内していたが、分かりやすい表示も必要ではないかと考える。
- 高齢者が多い関係で、接種会場内での支援が必要な方も一定数想定されるため、ボランティアスタッフの十分な配置が必要であるとする。
- 持病のある方への対応（心臓疾患）の場合、問診でかかりつけ医に相談したかと聞かれ、「まだ聞いていない」と返事をして、接種会場へと誘導された。接種する医師も同様であった。（訓練であったためと考えられるが）
このことから、持病を持っていて接種が可能かどうか事前に主治医に聞くことがポイントになるので、事前のその周知は重要であり、もっとアピールが必要であるとする。

- 列ごとに逆並びになっていたが、肩を出すときに、女性の下着の紐が見えるなど、対面の方は目のやり場がない場面も出てくると想定されるので、その工夫、配慮が必要と考える。
- 実際の接種時には、周りは知らない人が多いと思われるため、スタッフの声掛けによって安心感を与えることが大切であると考え。
- 文化公園体育館は玄関の間口が狭く、ポーチ周辺が混雑する印象を受けたので、何か工夫が必要ではないかと考える。
- 入場してすぐ左が受付待ち、右が待機場所となっているが、どちらに行けばいいのか迷うので、入口にはスタッフを多めに配置する必要があると考える。
- 接種後、1時間から2時間経過するまで会場で待機することを希望される方が待機できるスペースを設けたほうがいいのではないかと考える。(図の⑫と共同スペースにできないか。)

【その他】

- 郵送書類で、当日必要な書類と不必要な書類を分かりやすくするべきではないか。会場で不必要な書類を出されると、確認や記載の妨げになる。
- 当日接種不可の市民がバスで来られた場合、次の出発まで相当時間待機していただかなければならないので、待機場所を確保するべきではないか。
- 訓練日は気温が低く非常に寒かった。文化公園体育館は空調があり、本番時には調整できるが、他会場での接種では、温度管理も必要であると考え。
- 関係職員の多さが動線の妨げになる可能性もある。特に今回は訓練であったためか、見ているだけの職員が多かったが、必要な職員の適正配置を願う。
- 高齢者を対象にしている接種なので、老眼鏡の常備が必要ではないか。
- ワクチン接種に係る意向調査については、文字が小さく理解しにくい。また枚数も多く、高齢者を対象とした案内としては、更なる工夫が必要ではないかと考える。